

Title	聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書 (2007年度)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.18-No.2, 2008.9 : 24-26
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4766
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書（2007年度）

ふか い とも あき
深井 智朗

現職位：教授

本学への就任：1997年4月

最終学歴：1996年6月 アウクスブルク大学哲
学・社会学部

取得学位：

1996年6月 Dr. Phil. (アウクスブルク大学)

2006年11月 博士(文学) (京都大学)

所属学会：日本哲学会 (1996年～)、日本宗教学
会 (1997年～)、日本基督教学会 (1998年
～)

担当科目：(大学院) キリスト教文化学D 現代神

学史研究、原書講読 (ドイツ語)、海外研究
者講義 F・W・グラーフ教授との演習

専門分野：ドイツ近代思想史、ドイツ近・現代神
学史

研究テーマ：ヴィルヘルム帝政期からワイマール
共和国期の社会と神学

研究内容：1) ヴィルヘルム帝政期のルター派リ
ベラル・ナショナリズムの研究、2) ヴァイ
マール期における神学的アヴァンギャルドの
研究

研究業績 (2007年度 (2007/4～2008/3))
下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概要	刊行・発表年月
論文	Теология Японии как национальная теология.	Сайт Надежды Николаевны Трубниковой・モスクワ	「公共神学としての日本の神学」という主張を取り扱った講演のロシア語訳。	2007.10
論文	「見えないものを見る——表現主義的神学と表現主義的芸術」	『福音と世界』・東京・新教出版社 2008年1月号	株式会社宣伝会議主催の講演会での講演をまとめたもの。ヴァイマール期の表現主義的な思想の現代的意義について論じた。	2008.1
論文	「孤独という名の宗教——近代の宗教としての神秘主義」	『福音と世界』・東京・新教出版社 2007年12月号	ヴィルヘルム帝政期以後のドイツ社会における教養宗教としての神秘主義について論じた。	2007.12
論文	「教会外のキリスト教と聖書学」	『日本の神学』・東京・教文館 46号 (2007年)	2006年に行われた日本基督教学会学術大会でのシンポジウムでの発題。近代の聖書学の教会からの自立とその後の協力関係について二つの相対化モデルを用いて論じた。	2007.10
翻訳	F・W・グラーフ『ハルナックとトレルチ』(翻訳・近藤正臣氏との共訳)	聖学院大学出版会	2004年にF・W・グラーフ教授が聖学院大学大学院で行った講義の翻訳。	2007.4

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
論文	Otto Dix: A Theological Life 1891-1969, in: M. Schwarz (ed.), Art and Religion, New York 2006, 77-84	M. Schwarz (ed.), Art and Religion, New York 2007, 77-84	2001年8月11日に多摩美術大学を会場に行われた第26回近代美術史研究会で行った講演。『聖学院大学総合研究所ニュースレター』(2001年 Vol.7 No.3)に掲載されたが、それを改定し、英訳された。	2007.5

こう まん せん
高 萬 松

(聖学院大学)

現職位：特任研究員

所属学会：日本基督教学会 (2001年～)、日本ピューリタニズム学会 (2005年～)、学校伝道研究会 (2005年～)

本学への就任：2005年4月1日

最終学歴：

1981年2月 韓国、慶北大学校工科大学卒業

1999年2月 東京神学大学大学院修士課程修了

2005年3月 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了

担当科目：キリスト教概論A、キリスト教概論B

専門分野：組織神学

研究テーマ：歴史の神学

研究内容：フォーサイス神学におけるピューリタニズムやトマス・グッドウインの神学

取得学位：

1999年2月 神学修士 (東京神学大学)

2005年3月 アメリカ・ヨーロッパ文化学博士

研究業績 (2007年度 (2007/4～2008/3))

下表参照

区分	題名	掲載誌・発行所・学会名等	概要	刊行・発表年月
講演	P.T. フォーサイスにおける神義論	2007年度組織神学研究センター連続講座	フォーサイスの言う「神義論」が十字架の神学の上に立っているということについて。	2007.5
学会発表	P.T. フォーサイスとピューリタニズム	日本ピューリタニズム学会	1662年の非国教徒たちの大追放を記念したフォーサイスの1912年の著作から、ピューリタニズムとの親近性について。	2007.6
学術論文	P.T. フォーサイスとピューリタニズム：「自由」の問題を中心にして	『ピューリタニズム研究』No.2	フォーサイスの言う「自由」はピューリタン・独立派の思想に基づいた「福音的」土台を持っている。	2008.1

区分	題 名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概 要	刊行・発表年月
学術 論文	トマス・グッドウィン における義認論：Christ Set Forth を中心にして	『聖学院大学総 合研究所紀要』 No.41	義認の根拠はキリストの 死、義認の宣告はキリスト の復活、義認の完成はキリ ストのとりなしにあるとい うことについて。	2008.3
学会 発表	フォーサイスにおける 「エヴァンジェリカリズ ム」	日本基督教会関 東支部会	フォーサイスはピューリタ ン・独立派の上で「エヴァ ンジェリカリズム」を確立 し、「偉大なる教会」を目 指して教会のカトリシズム を実現しようとした。	2008.3